

吉祥寺 KICHIJOJI パークエリア パークエリア

第3号

きちば未来通信

まちづくりシンポジウムを
開催しました！

開催報告



2月8日(土)、武蔵野公会堂ホールにおいて、まちづくりシンポジウムを開催しました。今回のシンポジウムの目的は、パークエリアの「まちの将来像」を考えていく上で大切にすべき視点や考え方を共有し、新たな気づきを得ること。

前半は東京都立大学教授の吉川徹先生による基調講演が行われました。「これからの駅前まちづくりに求められるもの」と題し、まちづくりの世界的な潮流や日本の駅前を取り巻く状況や先進的な事例の紹介を通して、パークエリアのまちづくりにおける重要な視点についてお話をいただきました。

その後、市より、まちの現状や課題、それらを踏まえた「まちの将来像」の策定の必要性、これまでの取組みや今後の予定を報告しました。

何を守り、何を変えていくのか

後半は吉川先生による進行のもと、これまで市民講座に登壇いただいた小田先生、靄山先生、小林先生によるパネルディスカッションが行われました。テーマは「変わらないでいてほしいもの/変わってほしいもの」。

変わらないでいてほしいものとしては、「多様性」「個人店の集積」「市民と行政の協働」などが挙げられました。

一方、変わってほしいものとしては、「吉祥寺駅南口周辺の緑の充実」「賑わいを創出する文化

施設の再配置」「交通環境の改善」などが挙げられました。

今後のまちづくりの関わり方については、登壇者全員が共通して対話の重要性に触れ、最後に、吉川先生は「パークエリアならではの個性や文化を見つめ直し、何を守り、何を変えていくのかをみんなで議論し、考えなければならぬ」と締めくくりました。



吉川先生

将来像策定に向けてキックオフ！

閉会の挨拶で小美濃市長は、「交通環境の改善が急務である。50年後、100年後に誰からも愛させる街であり続けるために、市民の皆様と『まちの将来像』の策定に向けて議論を深めていきたい」と決意を表明しました。

来年度からは、引き続き、社会実験、市民講座、ワークショップなどを行うとともに、市・市民・まちの関係者間での対話を重ね、有識者等の意見も活用しながら「まちの将来像」の策定を進めていきます。

詳細については、市報、SNS、common等で適時ご案内しますので、是非ご参加ください。



小美濃市長

第3回 市民講座

「吉祥寺の文化と芸術とまちづくり」を開催しました！

～文化や芸術による交流の活性化～

「まちの将来像」策定に向けた情報共有を目的として、今年度から実施している市民講座。今年度最後となる第3回は、東京大学教授の小林真理先生をお招きし、12月1日(日)に武蔵野商工会館ゼロワンホールで開催しました。

初めに、文化政策を取り巻く国などの動向と武蔵野市における文化政策や文化施設の整備の歴史についてお話しいただきました。中でも、武蔵野市では国の文化振興の方針に従うだけではなく、文化を「芸術文化」「都市文化」「市民文化」の3つに再定義するなど、全国のモデルとなる取り組みが行われてきたこと等が紹介されました。

改修が予定される武蔵野公会堂については、元々集会や講演を行う集会施設として作られましたが、駅に近い立地や多すぎない席数等から、発表会など市民の活動の場として使われるようになり、文化施設として位置付けられるようになったとのこと。

そして、市民ニーズに合わせて、新たな機能を



拡張している国内外の先進的な文化施設の事例が紹介され、施設だけではなく、まち全体も文化や芸術を通して、歴史・伝統と創造・革新が交じり合う交流の場を作り出すことが大切ではないかという提案をいただきました。

文化や芸術がまちづくりに果たす重要な役割に気づく時間となりました。

コラム

気になるきちば

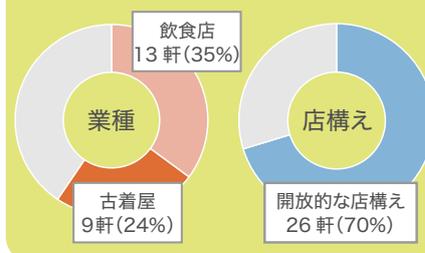
七井橋通りの魅力とは!?



吉祥寺駅から井の頭恩賜公園につながるメイン通りであり、個性的な店舗が軒を連ねる七井橋通り。通り沿いにある1階店舗37軒中、飲食店が13軒、古着屋が9軒となっており、平日・休日問わず多くの人で賑わっています。

多くの人を惹き付ける要因の1つとして考えられるのは、オープンカフェ等の開放的な店構えではないでしょうか。実際に数えてみると、26軒。こうした店構えによって、歩いて楽しい通りのイメージができていますのかもしれない。

七井橋通りの1階店舗の特徴



“common”でパークエリアを楽しもう!



詳細やダウンロードはこちら



吉祥寺パークエリア KICHIJYOJI PARK AREA きちば未来通信

発行者

武蔵野市 総合政策部 資産活用課 都市機能再構築担当
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 ☎0422(60)1982

2025年3月24日発行

第3号